

《平成28年度 環境経済部 組織目標》

◆目標管理者

部長 竹村 徹

◆部局の役割・目標像

持続可能な発展と環境への配慮を両立させるために、低炭素社会への転換や資源循環型社会の構築など、環境にやさしく心地よさが感じられるまちづくりを進めるとともに、老朽化したクリーンセンターの更新整備を行います。また、農・商・工それぞれの分野を強化しながらも、互いの密接な連携による産業振興と交流人口の増加を図り、活気と賑わい溢れるまちづくりを目指します。

◆「心地よさが感じられるまち」の実現に向けて

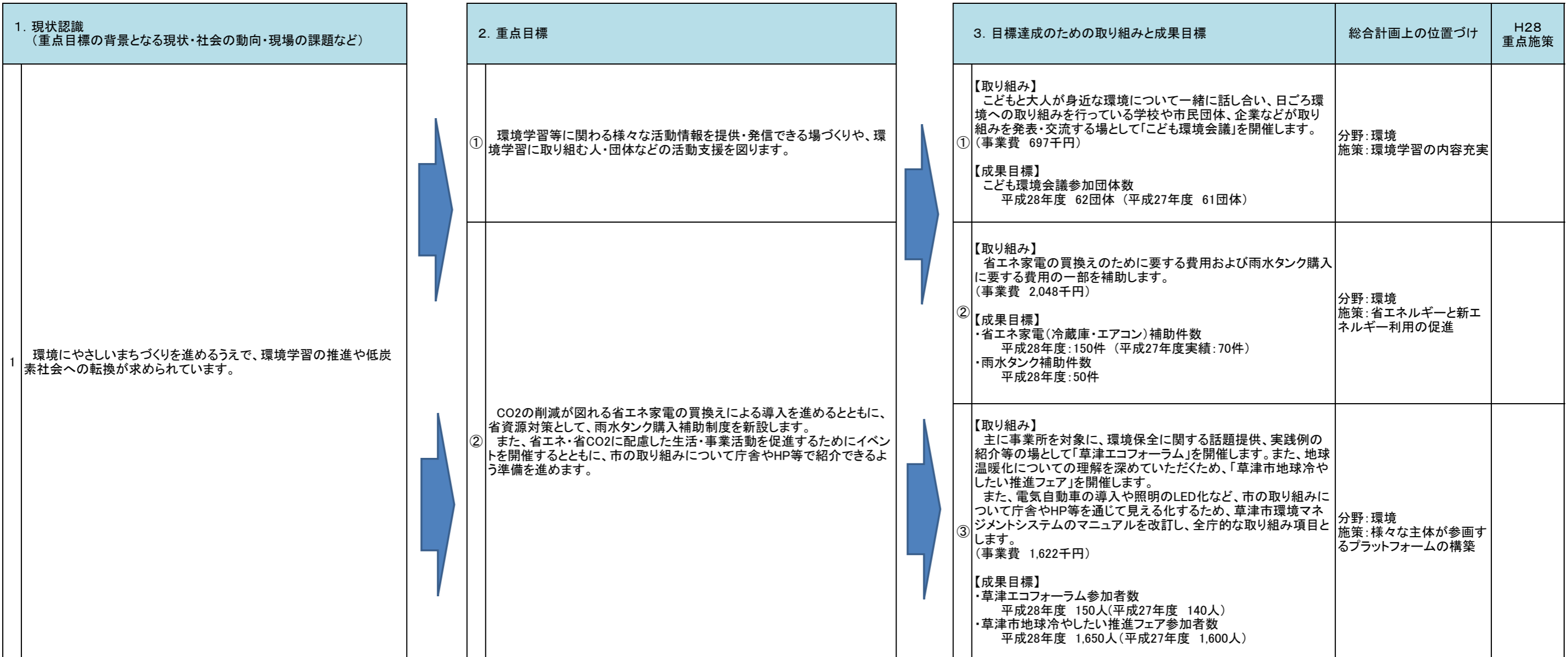
- ・低炭素社会への転換を目指した省エネルギーや新エネルギーの利用促進を図ります。また、環境啓発や環境学習を通じて、地域における環境活動を支援し、未来の環境を守る取り組みを進めます。
- ・将来にわたって安定した円滑な廃棄物処理を行うとともに、「資源循環型社会」の形成を図るため、リサイクル等によるごみの資源化促進など、ごみの減量化に取り組めます。
- ・老朽化が進んでいるクリーンセンターを、最新技術の導入による安定的で適切なごみ処理が可能な施設に更新するとともに、リサイクル機能を強化・充実させることにより、環境負荷の低減を図ります。〔平成29年度末完成予定〕

◆「活気があふれるまち」の実現に向けて

- ・中心市街地の魅力をさらに高め、心地よさを感じ、住み続けたいまちづくりの気運を高めるために草津商工会議所を始めとする関係団体等との連携を強め、商業・観光の振興を図ります。
- ・草津市工業振興計画に基づき、市内産業の活性化・雇用の拡大を促進し、草津市の持つ強みを活かした産業振興を図ります。
- ・持続的かつ安定的な農業経営の確立を目的とする「人・農地プラン」に基づき、担い手・経営体の育成や農地の利用集積を図るとともに、土地改良施設の機能更新を進めます。また、農水産物の草津ブランド力の強化や地産地消の推進と併せ、6次産業化への取り組みを支援します。

◆職員数および当初予算規模

所属	職員数(人)					当初予算規模(千円)			
	正規	特任	再任用	嘱託	臨時	総計	歳出(職員費を除く)	特定財源	一般財源
経営層(部長、副部長)	3					3	—	—	—
環境課	8		1	2	1	12	47,189	24,645	22,544
商工観光労政課	10		1	5		16	218,581	10,098	208,483
市民交流プラザ	3				14	17	93,206	69,321	23,885
農林水産課	12		4		3	19	246,067	154,114	91,953
ごみ減量推進課	7		1	4	2	14	621,219	46,587	574,632
廃棄物処理施設建設室	2		1			3	1,693,129	1,669,806	23,323
クリーンセンター	3		1	2		6	658,789	254,045	404,744
合計	48	0	9	13	20	90	3,578,180	2,228,616	1,349,564



1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取り組みと成果目標	総合計画上の位置づけ	H28 重点施策
<p>2 市の魅力を全国に発信しながら観光振興を進めるとともに、集客力のある商業集積やイベントの開催によって交流人口の増加を図り、賑わいあふれるまちなかづくりに取り組むことが必要となっています。</p>	<p>③ 草津市観光物産協会や草津商工会議所等の関係団体の活動を支援し、交流人口の増加と、商業・観光の振興を図ります。 また、中心市街地活性化基本計画に基づき、草津市中心市街地活性化協議会、草津まちづくり株式会社と連携を図り、まちなかの回遊性の向上を図ります。</p>	<p>④ 【取り組み】 草津商工会議所や草津市商店街連盟等の関係団体による活動を支援するとともに、草津街あかり華あかり夢あかりなど、地域と商業者が一体となったイベントの開催を支援し、まちなかの賑わい創出を図ります。 (事業費 商工団体活動費補助金 14,076千円、商店街活性化推進費 14,418千円) 【成果目標】 中心市街地に魅力があると感じる市民の割合 平成28年度 29.0% (平成27年度 28.0%)</p>	<p>分野: 商工観光 施策: 観光資源の活用と草津ブランドの育成、出会いとふれあいの魅力の発信</p>	
<p>3 日本経済に持ち直しが見られるものの、中小企業の経営や雇用情勢には依然として厳しい環境が続いていることから、引き続き、市内産業の活性化を図っていくことが必要となっています。</p>	<p>④ 草津の特産物や新たな特産品の育成に取り組み、草津ブランドの具現化を推進します。</p> <p>⑤ 草津市工業振興計画に基づき、引き続き、ビジネスマッチング等による販路拡大を推進するとともに、市内への新規立地を含め、市内製造業の継続的な事業展開に対する支援を充実し、設備投資の誘引による市内産業の活性化を図り、雇用の拡大につなげていきます。</p>	<p>⑤ 【取り組み】 草津市観光物産協会の活動を支援し、「宿場町草津」・「びわ湖草津」の魅力国内外に発信することと合わせて、地域の観光資源を生かした「着地型観光」の推進や、特産品の創出を進めます。 また、びわこビジターズビューローや近隣市とも連携し広域観光を進めます。 (事業費 草津市観光物産協会観光振興活動費補助金 12,228千円、第48回草津宿場まつり開催費補助金 13,500千円、広域観光費 1,122千円) 【成果目標】 観光の振興に満足している市民の割合 平成28年度 25.6% (平成27年度 25.1%)</p>	<p>分野: 商工観光 施策: 観光資源の活用と草津ブランドの育成、出会いとふれあいの魅力の発信</p>	
		<p>⑥ 【取り組み】 ・草津ブランド推進協議会において、新たな品目のブランド認証を実施します。(事業費 5,533千円) ・農水産物の生産者が行う6次産業化の取り組みを支援します。(事業費 500千円) 【成果目標】 ブランド認証品目数 平成28年度 1品目(平成27年度 6品目) 6次産業化補助件数 平成28年度 2件(平成27年度 1件)</p>	<p>分野: 農林水産 施策: 持続的・安定的な農業経営の確立</p>	
		<p>⑦ 【取り組み】 草津イノベーションコーディネータ(2名)による企業訪問(情報収集と提供)活動やセールスプロモーション支援事業により、市内企業の交流・商談・マッチングによる販路の拡大活動を促進します。 (事業費 11,041千円) 【成果目標】 草津イノベーションコーディネータによるマッチング対応件数 平成28年度 100件 (平成27年度 81件)</p>	<p>分野: 商工観光 施策: 研究開発人材の連携と協働の基盤づくり、付加価値の高い商品を製造する企業(機能)の誘致と集積促進</p>	
		<p>⑧ 【取り組み】 草津市企業立地促進条例に基づく工場等設置助成制度の活用により、市内製造業の投資を促進し、地域産業の活性化を図ります。(事業費 96,365千円) 【成果目標】 企業立地促進条例に基づく助成制度活用件数 平成28年度 8件 (平成27年度 6件)</p>	<p>分野: 商工観光 施策: 付加価値の高い商品を製造する企業(機能)の誘致と集積促進</p>	

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取り組みと成果目標	総合計画上の位置づけ	H28 重点施策
<p>4 国において、生産効率を高め競争力のある「攻めの農林水産業」を実現するために、農地の利用集積や経営体の育成に係る政策が展開されていることから、市域においても国の政策を活用しつつ、地域の特性を生かした農業振興を図っていくことが必要となっています。</p>	<p>⑥ 国の新たな農業・農村政策である「攻めの農林水産業」を推進するため、人・農地プランに基づき、効率的かつ持続可能な農業を実現するため、担い手の育成や農地の集積など関係機関と連携して取り組みます。また、地産地消の推進や農業生産を支える基幹的な土地改良施設の機能更新により、安定した地域農業経営の確立に向けた取り組みを進めます。</p>	<p>⑨ 【取り組み】 持続可能な地域農業の実現を目指す「人・農地プラン」に基づき、担い手に対し、県・JA草津市・農業者等の関係機関と連携し支援を行うとともに、農地中間管理機構や流動化推進員を通じ、農地の利用集積を図ります。</p> <p>【成果目標】 「人・農地プラン」における中心経営体への農地の集積率 平成28年度 36.4% (平成27年度 35.9%)</p> <p>⑩ 【取り組み】 市民が草津産農水産物に触れる機会を増やし、市内での消費を拡大するために、各種イベント等での販売や様々なメディアで草津産農水産物のPRを行います。 小学校給食での地場産使用品目数を増やすために、関係機関と連携し地産地消を推進します。</p> <p>【成果目標】 ・イベント等での農産物のPR力所数 平成28年度 13カ所 (平成27年度 12カ所) ・小学校給食での使用品目数 平成28年度 17品目 (平成27年度 16品目)</p> <p>⑪ 【取り組み】 県における草津用水土地改良区の基幹的な土地改良施設の機能更新事業(県営草津用水二期事業)の円滑な推進と早期完了を図るため安定的な予算の要望を行うとともに、必要な経費の一部を負担するなど、農業生産施設の適正な機能更新を図ります。(事業費 33,125千円)</p> <p>【成果目標】 草津用水二期事業(第1段送水路)進捗率 平成28年度 100%(事業完了) (平成27年度 95.2%) 草津用水二期事業全体進捗率 平成28年度 22.9% (平成27年度実績:20.3%)</p>	<p>分野: 農林水産 施策: 持続的・安定的な農業経営の確立</p> <p>分野: 農林水産 施策: 市民ニーズに応える地産地消の推進</p> <p>分野: 農林水産 施策: 農地の保全と農業的 土地利用の増進</p>	

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取り組みと成果目標	総合計画上の位置づけ	H28 重点施策
<p>5 限りある資源を大切に使い、循環的利用、有効活用に努め、環境への負荷の少ない持続可能な「資源循環型社会」の形成に向けて、ごみ減量化のためのリサイクルの推進を図る必要があります。 市においては、廃棄物の最終処分場がなく、大阪湾フェニックスへの搬入を行っていますが、その処分量にも限りがあることから、ごみの減量が必要不可欠です。</p>	<p>⑦ ごみ処理基本計画(改訂版)で定めている平成33年度のリサイクル率24%の達成に向け、食品残渣の減量や古紙類のリサイクルの推進、事業系ごみの分別徹底・リサイクルの推進等により、ごみ発生量の削減と資源化ごみ量の増大を図ります。</p>	<p>⑫ 【取り組み】 食品残渣の減量を推進するため、ごみ問題を考える草津市民会議と連携し、家庭で手軽に取り組める「段ボールコンポスト」の普及啓発やエコレシビコンテストの開催による啓発等を行う。 焼却ごみに多く含まれている古紙類のリサイクルを推進するため、地域の資源回収活動を促進するほか、雑紙の分別を容易にする雑紙保管袋を作成し、古紙類の資源回収量や行政回収量の増加を図ります。 ごみの減量とリサイクルの啓発を出前講座等により実施します。 事業系ごみの分別徹底・リサイクルを推進するため、事業所訪問や事業系廃棄物減量セミナーの開催等により、啓発活動を実施します。</p> <p>【成果目標】 リサイクル率 平成28年度 21.4% (平成27年度 19.1%) (※リサイクル率=資源化ごみ量/ごみ発生量×100)</p>	<p>分野: 環境 施策: 廃棄物の発生抑制、資源化の推進</p>	
<p>6 昭和52年度から稼働している廃棄物処理施設の老朽化に伴い、新たな施設を整備することが必要になっている。</p>	<p>⑧ 平成27年度に現場工事に着手しており、平成29年度中の稼働に向けて、確実に工事を進めていきます。安全で安定した施設、環境に配慮した施設、経済性・効率性を考慮した施設として整備を行います。</p>	<p>⑬ 【取り組み】 クリーンセンター更新整備事業として、主に土木建築工事を実施します。(事業費:1,647,369千円)</p> <p>【成果目標】 ・クリーンセンター更新整備事業進捗率 平成28年度 16.3% (平成27年度 :0.92%)</p>	<p>分野: 環境 施策: 廃棄物の適正処理</p>	